

寄付によるご支援をお願いいたします。

臓器移植の普及啓発には、皆様からのご支援が必要です。
寄付をいただいた場合は、税制上の優遇措置が受けられます。
詳しくはホームページをご覧になるか、下記へお問い合わせください。

ご支援に関する
お問い合わせ | ☎ 0120-78-1069 [平日 : 9:00~17:30]

臓器移植希望登録に関するお問い合わせ

☎ 03-5446-8807 [平日 : 9:00~17:30]

 公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク
いのち、つなぐ。

〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階



グリーンリボン
キャンペーンの天使
ハーティ



ホームページにもさまざまな
情報が掲載されています。

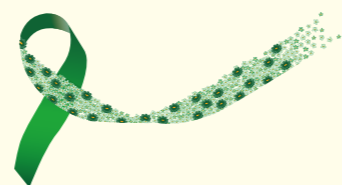
<https://www.jotnw.or.jp>

臓器移植





INDEX / 目次



- 1 臓器提供・臓器移植の現状 2
 - 臓器提供件数の推移と取り組み
 - 臓器移植件数の推移と成績
 - 小児脳死下臓器提供と移植の現状
- 2 移植者の現状 5
 - 心臓移植・心肺同時移植
 - 肺移植・心肺同時移植
 - 肝臓移植・肝腎同時移植・肝小腸同時移植
 - 脾臓移植・脾腎同時移植
 - 小腸移植・肝小腸同時移植
 - 腎臓移植
- 3 よくあるご質問 (FAQ) 7
- 4 移植希望者ポータルサイトのご案内 8
- 5 レシピエントの個人情報の取扱いと 8
 - 利用についてご了解いただきたいこと
- 6 SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) の 9
 - 利用上の注意点
- 7 財政状況の報告 (2023年度) 9
- 8 普及啓発の概要 10

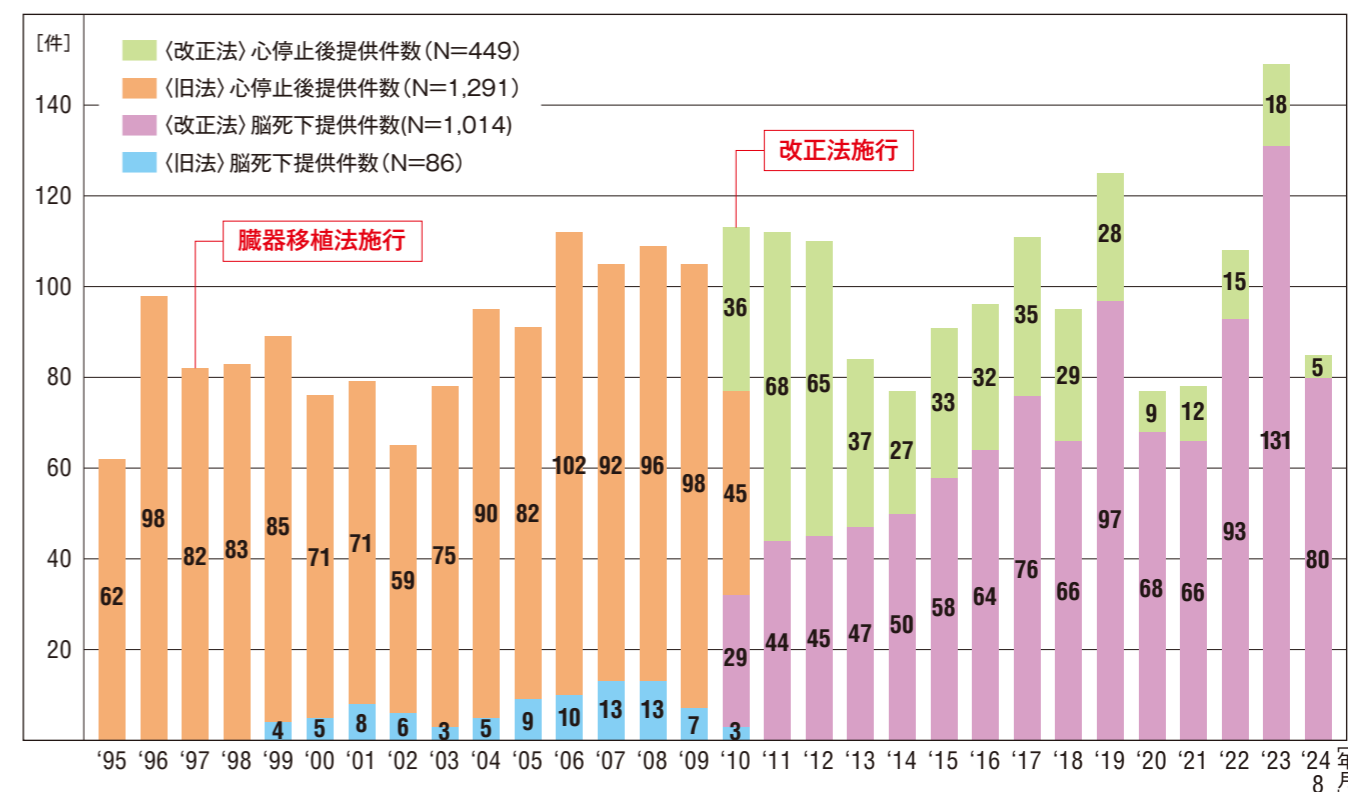
1 臓器提供・臓器移植の現状

臓器提供件数の推移と取り組み

1995年4月から2024年8月末までに、脳死下臓器提供件数は1,100例であり、心停止後臓器提供件数は1,740例でした(図1)。特に2010年7月の改正臓器移植法施行を機に、本人の書面による意思表示がない場合でも家族の承諾で脳死下臓器提供が可能になったため、脳死下臓器提供件

数は大幅に増えましたが、2020年と2021年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で臓器提供件数が減少しました。しかし2022年以降は戻りつつあり、2023年はこれまでで最も多く、脳死下臓器提供件数は131例、心停止後臓器提供を含めた臓器提供件数は149例のご提供がありました。

【図1】臓器提供件数の年次推移



*脳死判定後、摘出に至らなかった事例は含まず
*1995年は、日本臓器移植ネットワーク発足後の4~12月

改正臓器移植法施行後の脳死下臓器提供件数1,014例(2010年7月17日~2024年8月31日)のうち、803例(79.2%)は本人の書面による臓器提供の意思表示がない事例であり、家族の承諾による脳死下臓器提供がほとんどとなっています。一方で、本人の意思表示があった210例(20.7%)は、意思表示カード、健康保険証意思表示欄、運転免許証意思表示欄などへの記載がありました。近年は健康保険証意思表示欄、運転免許証意思表示欄への記載が増えており、複数に意思表示している事例も39例(3.8%)ありました。*意思表示内容1件は非公表のため含まず

日本臓器移植ネットワーク(以下、JOT)では、移植医療推進に関する行政の取り組みを支援できるように、全国の臓器提供が可能な医療機関を対象として院内体制を整備するための助成事業を行っています。参加する医療機関は年々増加し現在では200施設を超えています。近年、主治医等からの臓器提供に関する情報提供がきっかけで臓器提供につながった事例が8割程度をしめていることから、医療機関における臓器提供の体制整備が浸透してきているものと考えられます。



臓器移植件数の推移と成績

2024年8月末現在、移植を希望して登録している方々は、心臓835名、肺616名、肝臓452名、膵臓148名、腎臓14,491名、小腸8名、合計16,380名です(図2)。一方で、1995年4月から2024年8月末までに臓器移植を受けられた方々は、心臓移植889名、肺移植948名、

心肺同時移植3名、肝臓移植929名、肝腎同時移植60名、膵臓移植76名、膵腎同時移植478名、腎臓移植4,605名、小腸移植31名、肝小腸同時移植2名の計8,021名となっています(図3)。

【図2】移植希望登録者統計 (2024年8月31日現在)

臓器	希望登録者数		臓器	希望登録者数	
	希望登録者数	内訳		希望登録者数	内訳
心臓	835	内、心肺同時 4	腎臓	14,491	内、肝腎同時 38 内、膵腎同時 127
肺	616	内、心肺同時 4	膵臓	148	内、膵腎同時 127
肝臓	452	内、肝腎同時 38 内、肝小腸同時 1	小腸	8	内、肝小腸同時 1

※各臓器の移植希望登録者数には、多臓器同時移植希望登録者を含む

【図3】臓器移植件数 (1995年4月~2024年8月、移植8,021件)

年	心臓	心肺同時	肺	肝臓	肝腎同時	肝小腸同時	膵臓	膵腎同時	腎臓	小腸	合計
1995*1	—	—	—	—	—	—	—	—	118	—	118
1996	—	—	—	—	—	—	—	—	183	—	183
1997	0	—	—	0	—	—	—	—	159	—	159
1998	0	—	0	0	—	—	—	—	149	—	149
1999	3	—	0	2	—	—	0	0	158	—	163
2000	3	—	3	6	—	—	0	1	145	0	158
2001	6	—	6	6	—	—	0	6	145	1	170
2002	5	—	4	7	—	—	1	2	122	0	141
2003	0	0	2	2	—	—	1	1	135	0	141
2004	5	0	4	3	—	—	0	5	168	0	185
2005	7	0	5	4	—	—	1	5	155	0	177
2006	10	0	6	5	0	—	1	8	189	0	219
2007	10	0	9	10	0	—	4	8	179	2	222
2008	11	0	14	13	0	—	4	6	204	1	253
2009	6	1	9	7	0	—	0	7	182	1	213
2010	23	0	25	30	0	—	2	23	186	4	293
2011	31	0	37	41	0	0	6	29	182	3	329
2012	28	0	33	40	1	0	9	18	174	0	303
2013	37	1	40	38	1	0	9	24	130	1	281
2014	37	0	41	43	2	0	5	24	101	0	253
2015	44	0	45	55	2	0	4	32	133	0	315
2016	51	1	49	54	3	0	5	33	141	1	338
2017	56	0	56	62	7	0	8	35	156	0	380
2018	55	0	58	57	3	0	3	31	148	3	358
2019	84	0	79	82	6	0	3	46	178	2	480
2020	54	0	58	58	5	0	4	24	112	3	318
2021	59	0	74	57	3	0	0	23	99	2	317
2022	79	0	94	76	9	1	3	27	162	4	455
2023	115	0	119	105	12	1	2	35	201	2	592
2024	70	0	78	66	6	0	1*2	25	111	1*2	358
合計	889	3	948	929	60	2	76	478	4,605	31	8,021

*1) 1995年は、日本腎臓移植ネットワーク発足後の4~12月 *2) 膵臓と小腸を同一レシピエントに移植した事例あり

小児脳死下臓器提供と移植の現状

2010年7月の改正臓器移植法施行に伴い小児の脳死下臓器提供が可能となりましたが、特に家族の心情に配慮しつつ、虐待の除外や厳密な法的脳死判定の実施など慎重な対応が求められています。そのような状況において、2024年8月末までに、18歳未満からの脳死下臓器提供件数は90例ありました(図4)。これまでにご提供された方々の年齢別では、6歳未満36例、6歳以上10歳未満11例、6歳以上18歳未満24例、10歳以上15歳未満13例、15歳以上18歳未満6例でしたが、合計395名の方が移植を受けるに至り、そのうち256名が18歳未満の小児登録患者でした(図5)。

厚生労働省通知により、心臓、肝臓、腎臓移植ではこれまでも小児のご提供者からは小児の登録患者が優先される

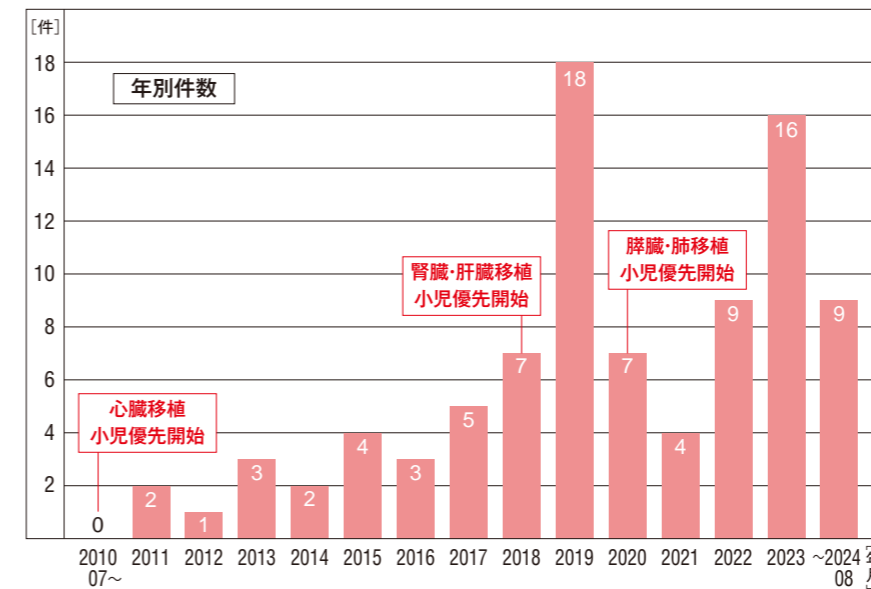
ルール(レシピエント選択基準)となっていました。2020年2月に膵臓移植(20歳未満のご提供者から20歳未満の登録患者)、6月に肺移植(18歳未満のご提供者から18歳未満の登録患者)の選択基準が改正され、同様に小児優先となりました。これによって多くの小児登録患者が移植を受けることができるようになりました(図6)。

JOTホームページで最新データを随時掲載しておりますのでご参照ください。

▶ <https://www.jotnw.or.jp/data/>

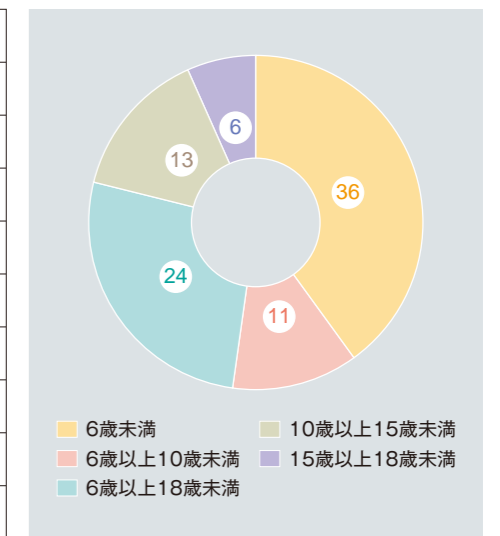


【図4】18歳未満 脳死下臓器提供 (2010年7月~2024年8月、提供90件)



※情報公開の内容に基づいて集計 ※脳死判定後、摘出に至らなかった事例は含まず

【図5】年齢別提供件数



【図6】

	心臓	肺	肝臓*	腎臓	膵臓*	小腸	肝小腸	合計
移植件数	83	60	90	116	33	12	1	395
内、18歳未満	76	31	72	67	0	9	1	256

* 肝腎、膵腎同時移植を含む



2 移植者の現状

移植までの平均待機期間については、これまでに移植を受けられた方の待機期間の平均を算出した日数となります。移植を受ける方は、レシピエント選択基準に沿って選ばれます。実際の待機期間については、提供される方との適合度(血液型、体格、組織適合性等)や移植希望者の医学的緊急度、待機期間等により臓器ごとに異なります。



心臓移植・心肺同時移植

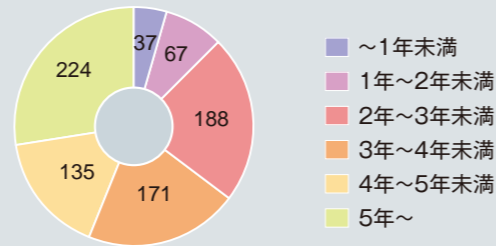
心臓移植・心肺同時移植者(1997年10月~2023年12月、822名)の平均待機期間(登録日から移植日までの期間)は、1,441.1日(約3年11か月)でした。また、移植後5年後の生存率及び生着率はそれぞれ92.9%でした。

【心臓移植・心肺同時移植】生存・生着率

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	96.4%	94.4%	92.9%	92.0%	89.5%
生着率	96.4%	94.4%	92.9%	91.8%	89.5%

N=822 内心肺同時移植N=3(1997.10~2023.12)

心臓・心肺同時移植を受けられた方の待機期間
N=822 (1997.10~2023.12)



移植までの平均待機期間：1,441.1日



肺移植・心肺同時移植

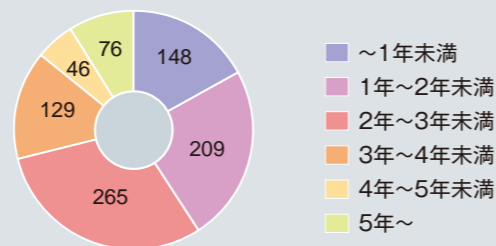
肺移植・心肺同時移植者(1997年10月~2023年12月、873名)の平均待機期間は、945.1日(約2年7か月)でした。また、移植後5年後の生存率は、72.6%、生着率は71.9%でした。

【肺移植・心肺同時移植】生存・生着率

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	91.2%	81.9%	72.6%	66.1%	59.3%
生着率	91.1%	82.0%	71.9%	64.3%	57.2%

N=873 内心肺同時移植N=3(1997.10~2023.12)

肺・心肺同時移植を受けられた方の待機期間
N=873 (1997.10~2023.12)



移植までの平均待機期間：945.1日



肝臓移植・肝腎同時移植・肝小腸同時移植

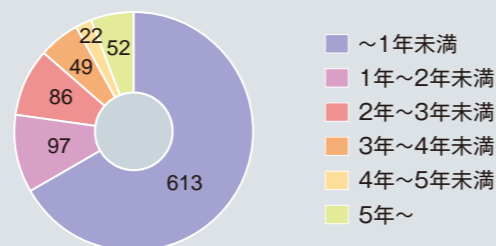
肝臓移植・肝腎同時移植・肝小腸同時移植者(1997年10月~2023年12月、919名)の平均待機期間は、459.7日(約1年3か月)でした。また、移植後5年後の生存率は、84.5%、生着率は83.5%でした。

【肝臓移植・肝腎同時移植・肝小腸同時移植】生存・生着率

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	89.4%	87.0%	84.5%	81.2%	76.8%
生着率	88.7%	86.2%	83.5%	80.2%	75.6%

N=919 内肝腎同時移植N=54、肝小腸同時移植N=2(1997.10~2023.12)

肝臓・肝腎同時・肝小腸同時移植を受けられた方の待機期間
N=919 (1997.10~2023.12)



移植までの平均待機期間：459.7日



膵臓移植・膵腎同時移植

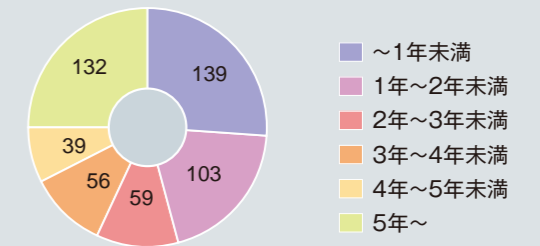
膵臓移植・膵腎同時移植者(1997年10月~2023年12月、528名)の平均待機期間は、1,230.8日(約3年4か月)でした。また、移植後5年後の生存率は、92.0%、生着率は76.0%でした。

【膵臓移植・膵腎同時移植】生存・生着率

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	95.5%	94.0%	92.0%	88.4%	83.1%
生着率	84.9%	79.8%	76.0%	71.7%	66.7%

N=528 内膵腎同時移植N=448(1997.10~2023.12)

膵臓・膵腎同時移植を受けられた方の待機期間
N=528 (1997.10~2023.12)



移植までの平均待機期間：1,230.8日



小腸移植・肝小腸同時移植

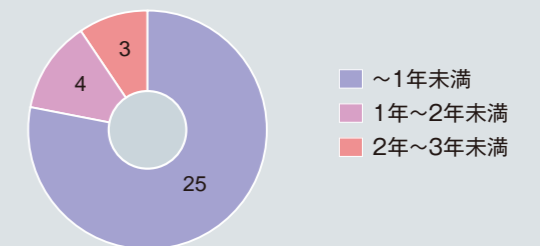
小腸・肝小腸同時移植者(1997年10月~2023年12月、32名)の平均待機期間は、292.6日(約10か月)でした。また、移植後5年後の生存率は、62.3%、生着率は53.8%でした。

【小腸移植・肝小腸同時移植】生存・生着率

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	93.6%	78.5%	62.3%	56.1%	40.9%
生着率	90.3%	72.2%	53.8%	48.4%	28.2%

N=32 内肝小腸同時移植N=2(1997.10~2023.12)

小腸・肝小腸同時移植を受けられた方の待機期間
N=32 (1997.10~2023.12)



移植までの平均待機期間：292.6日



腎臓移植

腎臓移植者(レシピエント選択基準改正後2002年1月10日~2023年12月、膵腎同時移植者・肝腎同時移植者を除く3,427名)の平均待機期間は、5,388.5日(約14年9か月)でした。また、1995年4月~2023年12月の5,001名の移植後5年後の生存率は、91.2%、生着率は79.6%でした。

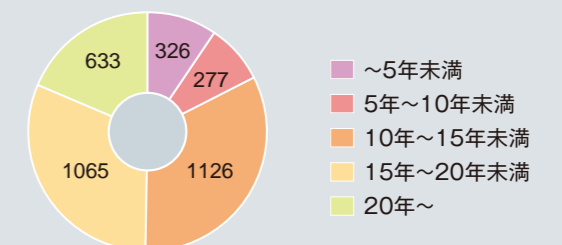
2023年は201名の腎臓移植が行われ、移植時の平均年齢45.3歳(最年少3歳、最年長72歳)、16歳未満の小児待機者への移植は32名、16歳以上20歳未満への移植は19名でした。

【腎臓移植】生存・生着率

	1年	3年	5年	7年	10年
生存率	96.6%	94.1%	91.2%	88.0%	83.0%
生着率	90.3%	85.1%	79.6%	73.7%	64.8%

N=5,001 内肝腎同時移植N=54、膵腎同時移植N=453(1995.4~2023.12)

腎臓移植を受けられた方の待機期間
(膵腎同時・肝腎同時移植を除く)
N=3,427 (2002.1.10~2023.12)



移植までの平均待機期間：5,388.5日



3 よくあるご質問 (FAQ)

Q 臓器移植の登録更新(継続)を希望していますが、年齢の上限はありますか?

A JOTでは移植希望登録の年齢制限は設けていませんが、移植施設(移植希望病院)や臓器ごとの移植適応評価委員会等では、医学的な条件や年齢等の基準を設けている場合があります。

受診の際、移植施設にて年齢や医学的な状況を含めて登録更新できるか確認していただいています。ご心配な場合は移植施設にご相談ください。

Q 移植希望登録後に移植施設(移植希望病院)を変更することはできますか?

A 【心臓・肺・肝臓・膵臓・小腸】
現在の移植施設にご相談ください。変更先の移植施設が決まったら、現在の移植施設からJOTへご連絡いただけます。移植施設を変更しても、待機期間は変わりません。
【腎臓】
ご自身で変更先の移植施設に予約のうえ受診し、受け入れの可否を確認してください。受け入れ可能な場合は、JOTまでご連絡ください。移植施設を変更しても、待機期間は変わりません。

Q 移植手術等の移植にかかる費用は?

A 実際に移植を受ける際には、以下の費用が必要となります。

- ① 移植手術費
- ② 入院費
- ③ 臓器搬送費
- ④ 摘出医師派遣費
- ⑤ コーディネート経費100,000円(または免除申請)

① 移植手術費 ② 入院費は、基本的には健康保険の適用となっています。③ 臓器搬送費 ④ 摘出医師派遣費については療養費払いの対象です。それぞれ、受けている公費負担制度により、自己負担額が異なります。また、個室の差額ベッド代等は自己負担となります。詳しくは移植施設にお問い合わせください。

⑤ コーディネート経費についてはJOTから直接請求があり、医療費控除の対象となります。住民税非課税世帯は、所定の書類(免除申請書類)を提出していただくことにより免除されます。

Q 登録更新の時期でないときに登録内容(住所・電話番号・かかりつけ医療機関等)が変更されました。どうすればいいですか?

A 登録内容に変更が生じたときは、速やかに移植施設に連絡し、登録内容の変更を依頼してください。

Q 移植希望登録をした後、どのくらいの日数待機するのでしょうか?現在の自分の順番を知ることができますか?

A 移植を受けられた方の平均待機期間については、P5～P6をご覧ください。
臓器提供者(ドナー)との適合度等によって変化しますので、現在の自分の順番を知ることができません。

Q 親族から優先して臓器提供を受けるにはどうすればよいですか?

A 移植を受ける方がJOTに移植希望登録を行い、ドナーとなる親族が親族優先提供の意思を書面により示しておくことが必要です。意思表示は、運転免許証・マイナンバーカード・意思表示カードの意思表示欄やインターネットによる意思登録などで行えます。

親族優先提供について

親族への優先提供が行われる場合、以下の3要件をすべて満たす必要があります。

- 本人(15歳以上)が臓器を提供する意思表示に併せて、親族への優先提供の意思を書面により表示している。
 - 臓器提供の際、親族(配偶者※1、子ども※2、父母※2)が移植希望登録をしている。
- ※1 婚姻届を出している方です。事実婚の方は含みません。
※2 実の親子のほか、特別養子縁組による養子及び養父母を含みます。
- 医学的な条件(適合条件)を満たしている。

親族優先提供についての留意事項

- 医学的な条件などにより移植の対象となる親族がいない場合は、親族以外の方への移植が行われます。
- 優先提供する親族の方を指定(名前を記載)した場合は、その方を含めた親族全体への優先提供意思として取り扱います。
- 「○○さんだけにしか提供したくない」という提供先を限定する意思表示があった場合には、親族の方も含め、臓器提供が行われません。
- 親族提供を目的とした自殺を防ぐため、自殺した方からの親族優先提供は行われません。

4 移植希望者ポータルサイトのご案内

2025年夏より「移植希望者ポータルサイト」が開始予定です。

このサイトでは、移植希望登録者がポータルサイトの新規利用登録後、ご自身で移植希望者情報や更新申請状況の確認、移植希望者情報(住所・電話番号等)の変更が可能となります。

詳細は決まり次第、JOTホームページでお知らせいたします。

5 レシピエントの個人情報の取扱いと利用についてご了解いただきたいこと

JOTで扱う個人情報を含む記録は、各種法令や倫理指針に基づいた社内規程を守った上で、個人情報保護方針に従い下記の通り利用されます。

現在登録されているデータ内容を含め、移植を受けた後の臓器機能データ、薬剤の使用状況、合併症、社会復帰状況、

転帰などについて、移植担当医にデータの提供をお願いしています。

移植希望の登録申請をされた場合には、これらのデータの利用及びデータ提供に同意したものとしますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

【利用目的】

- 臓器移植のあっせん業務に利用します。
- あっせん業務の質の向上を目的として行う研修等に利用します。
- あっせん業務の維持・改善などの経営分析のための基礎資料として利用します。
- 個人が特定できないような統計情報として社会への情報発信に利用します。
- 移植医療の質の向上を目的として行う調査・研究等として利用します。

【第三者への提供】

- あっせん業務を遂行するために、臓器提供施設、臓器移植施設、検査施設や外部の医師等へ登録情報を提供します。
- 移植医療の質の向上を目的として行う調査・研究等のために個人を特定できないように加工したデータ(匿名加工情報)を、大学その他の研究機関、学会等に提供することがあります。

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク 個人情報保護方針

当社は、個人情報保護の重要性を認識し、「臓器の移植に関する法律」等関係法令に則った臓器のあっせんを目的とし、これまで以上に細心の注意を払い、下記の取り組みを実施いたします。

当社は、厚生労働大臣より業として行うあっせんの許可を受けており、厚生労働省及び関係省庁への報告が義務づけられています。その社内活動において、業務の維持・改善のための基礎資料作成、移植医療の質の向上を目的とした教育・研修・研究等を行っており、収集した個人情報をこれらの目的に用いることがありますが、個人情報の保護には厳重に注意を払います。

1. 個人情報について、その管理責任者を設置し、取扱いを定めて、適正な保護を行います。
2. 当社の業務を行う上で必要な個人情報は、その収集と利用の目的、管理方法と相談窓口を常に明示して、適切な手段で収集し管理いたします。
3. 個人情報は、上記の利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。なお、目的以外の利用をする場合は、法令に基づく命令及び関係法令で定める除外項目を除き、本人の同意を得るものといたします。
4. 取得した個人情報は、法令に基づく命令及び関係法令で定める除外項目を除き、あらかじめ本人の同意を得ることなく第三者に提供することはありません。

5. 個人情報への不正なアクセス、個人情報の紛失、破壊、改ざん及び漏えい等のリスクに対しましては、適切な安全対策を講じます。万一の問題発生時は速やかな是正を実施いたします。

6. 個人情報を取扱う業務を外部の業者に委託する場合、個人情報を収集するときの承諾に基づく利用、提供先の管理、委託先に対する適切な契約や指導、監督を行います。

7. 個人情報の確認、訂正、追加、提供範囲の変更や削除を本人から依頼された場合には、その内容確認と必要に応じて適切な対応を取ります。書面の交付による方法等法令に基づいて速やかに対応いたします。

8. 当社が保有する個人情報に関しましては、関係法令及び規制を遵守するとともに、適正な運用が実施されるよう定期的な監査を行い、職員の教育・研修を徹底した上で、個人情報の取り扱いを継続的に見直し、改善を行います。

9. 移植医療の質の向上を目的として行う調査・研究のために提供することを、症例データ等を加工して、大学その他の研究機関、学会等の第三者に提供することがありますが、その場合、「匿名加工情報」として法令等に基づき個人情報を匿名化しますので個人が特定されることはありません。(令和4年4月改定)



公益社団法人 日本臓器移植ネットワーク

〒108-0022 東京都港区海岸3-26-1 パーク芝浦12階
TEL: 03-5446-8800

【受付時間】
月～金曜日 9:00～17:30(土日・祝日・年末年始を除く)



6 SNS (ソーシャルネットワーキングサービス) の 利用上の注意点

掲載を控えていただきたい情報

- 移植候補にあがったこと
- 移植日
- 移植施設名
- ドナーが入院していた施設名



SNS (X (旧:Twitter)、Instagram、Facebook、YouTube、LINE など)等のソーシャルメディアはいろいろな人とコミュニケーションを取ったり、自らの経験などの情報発信に非常に便利である反面、不適切な情報発信で思わぬトラブルに巻き込まれ、人生に重大な影響を与えかねない事態に発展する恐れがあります。

近年、移植医療に関する投稿も散見されるようになりました。JOTでは、移植医療に関するルール(法律など)に基づき、ドナーとレシピエントのプライバシー保護の観点から、互いの情報が伝わらないよう匿名性を担保することを基本としています。

SNSへの投稿により、万が一、ドナーとレシピエントが特定されると、双方にとって不利益が生じる可能性があります。また、一度、インターネット上に公開された情報の回収は極めて困難であり、状況を知らない第三者からの心ない発言・コメントに傷つき、辛い思いをするかもしれません。また、個人の特定につながる可能性もあります。

つきましては、ご自身の移植に関わる上記の情報をSNS等へ投稿することはお控えください。わからないことがあれば、ご自身が登録している移植施設の医師やレシピエント移植コーディネーターにご相談ください。

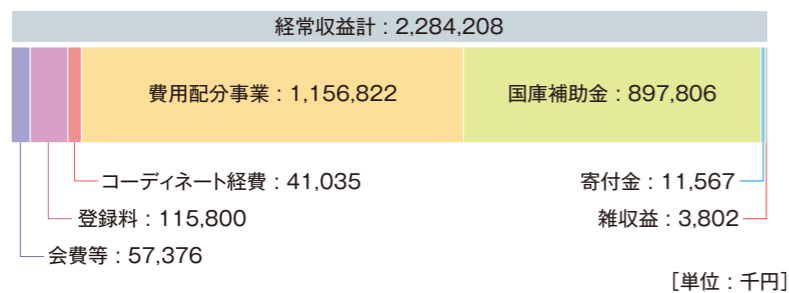
あなた自身やドナーとそのご家族を守るためにも、ご協力をお願いいたします。

7 財政状況の報告(2023年度)

2023年度の経常収益計は、2,284,208千円でした。その内訳は、会費等収益57,376千円、登録料収益115,800千円、移植を受けられた方から受領するコーディネート経費収益41,035千円、寄付金収益11,567千円、費用配分事

業収益1,156,822千円、国庫補助金収益897,806千円、雑収益3,802千円でした。一方、経常費用計は2,078,866千円でした。その内訳は、事業費2,003,650千円、管理費75,216千円でした。

2023年度 経常収益内訳



2023年度 経常費用内訳



8 普及啓発の概要

JOTでは、厚生労働省や全国の自治体と連携し、ホームページを中心に様々な情報を発信しています。これにより、国民や社会への移植医療の理解を促しています。また、意思表示をすることや家族で話し合うことの大切さを伝えることで、臓器を提供する人と移植を受けたい人が結ばれ、より多くのいのちが救われる社会を目指しています。

死後の臓器提供は、本人の生前の意思が尊重され、さらに家族による承諾が必要となります。本人の意思が不明な場合は、家族が判断をすることになりますので、家族が判断に迷うことのないように、自らの意思を表示し、家族と十分に話し合っておくことが大切です。

臓器提供の意思表示は、運転免許証、マイナンバーカード等の意思表示欄や意思表示カードへの記入、あるいは、JOTのホームページで意思登録ができます。

親族に優先して提供する意思表示は、JOTのホームページで要件等を確認のうえ、提供する意思表示に併せて特記欄に「親族優先」と記入することができます。

内閣府の「移植医療に関する世論調査」(2021年9月実施)によると、臓器を提供したい方が39.5%であるにもかかわらず、意思表示をしている方は10.2%(10人に1人)に留まります。意思表示の促進のために、運転免許証、マイナンバーカード等の発行窓口との協力、及び、日本薬剤師会を通じた調剤薬局店舗の支援によりポスター掲出やリーフレットの配布を進めています。

毎年10月の臓器移植普及推進月間には、グリーンリボンデー*を中心としてグリーンリボンキャンペーンを展開して

います。その一環として、東京タワーをはじめとした全国各地のランドマークがグリーンにライトアップされ、その数は今年初めて全47都道府県過去最多の250カ所**以上に広がりました。グリーンライトアップには、ドナー(臓器提供者)への感謝に加え、移植を待つ人たち、移植医療を支える医療者等へのエールを、移植医療の希望の光につなげ、そして、一人ひとりがいのちや移植医療について向き合い、家族や大切な人と話し合う機会となることを期待しています。この模様は、ホームページやグリーンリボンキャンペーンサイト、各種SNSにて#グリーンリボンキャンペーン、#グリーンライトアップ等でご覧いただけます。また、今年度のグリーンリボンキャンペーンでは、楽しみながら学べる「エデュテイメント」をもとにした新しい体験型コンテンツを通して、移植医療やいのちの大切さに向き合う機会を提供し、誰かのためにアクションすることの素晴らしさを伝えていきます。

これからの社会を担う子供たちの教育にも継続的に注力しています。小学校、中学校における「道徳」の教科化に伴い、子どもたちが臓器移植の情報に接する機会が増えています。子どもたちが臓器移植を題材に「いのちの大切さ」を学べるように、教育者を支援するセミナーの開催や、新たに授業で活用できる教材映画「サンクスレター」の制作、講師派遣等を行っています。また、デジタルコンテンツ「キッズサイト」では、子どもたちが自ら臓器移植について学ぶことに加えて、夏休みの自由研究などにも活用できるオリジナル研究シートや映像コンテンツを公開しています。

*)臓器移植法が施行された10月16日は、家族や大切な人と「移植」のこと、「いのち」のことを話し合い、お互いの臓器提供に関する意思を確認する日としています **)2024年10月の実施数

think transplant vol.50

肝臓移植をした女兒とご家族の手記です。



グリーンリボンキャンペーンサイト

グリーンリボン

GREEN LIGHT-UP Project



<https://www.green-ribbon.jp/greenlightup/>

グリーンリボンキャンペーン公式SNS

(X、Instagram、Facebook)でも情報を発信しています。フォローや「いいね」等で応援をお願いします。

教材映画「サンクスレター」

15歳という年齢を迎える中学3年生の幼馴染の大智とひとみ。クラスの友人それぞれが考える思いを題材に道徳の授業を中心に活用いただける教材です。



https://youtu.be/uNKKAGuOa_M

